

【肢体不自由】

空知管内

北海道岩見沢高等養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- ☐ 住所 〒068-0014 岩見沢市東町2条8丁目960-3
☐ 問合せ先 TEL 0126-23-5055
 FAX 0126-23-5130
 E-mail iwamizawakoutouyogo-zO@hokkaido-c.ed.jp
☐ 学校Webページ <http://www.iwamizawakoutouyogo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

□ 学校教育目標

- 1 心身共に健康で、自ら鍛える生徒【基本】
- 2 知性を磨き、主体的に考え判断する生徒【知】
- 3 情操豊かで、相互に敬愛し合う生徒【情】
- 4 強固な意志を培い、目標達成に努める生徒【意】
- 5 自己実現を志向し、自立できる生徒【自立】

□ 校訓

「自立」「信愛」「創造」

□ 概要

本校は昭和56年に開校した肢体不自由のある高等部段階の生徒を対象とした特別支援学校です。本校は普通科と専門学科（工業科、商業科、生活科学科）を設置する学校です。肢体不自由のある生徒の特性等を踏まえ、高等学校に準じた教育を行いながら、卒業後の自立と社会参加を目指し、生徒の社会的・職業的自立に向けた教育を行っています。また、寄宿舎では、社会生活に必要な力や社会性を育てるための生活指導や余暇活動等の充実に力を入れています。



■特色ある教育活動

肢体不自由のある生徒に対し、一人一人のニーズに対応した教育を行い、生徒が主体的に社会参加するため、生徒の社会的・職業的自立に向けて、確かな学力や生活する力を育てる。

【 普通科 】

高等学校に準じた教科学習を通して、高校生としての学力を身に付けられるよう、一人一人の実態に応じた、習熟度別の学習グループを編成しています。

【 工業科 】

工業に関する基礎的・基本的な知識や、集中力やコミュニケーション能力の育成を目指し、ものづくり学習やコンピュータ学習、各種検定、資格取得に向けた学習に取り組んでいます。（計算技術検定、危険物取扱者資格取得等）

【 商業科 】

商業に関する基礎的・基本的な知識や技術、働く上での実践的な力の育成を目指し、「課題研究」やビジネスマナー、各種検定の取得に向けた学習に取り組んでいます。（文書デザイン、プレゼンテーション、パソコンスピード認定等）

【 生活科学科 】

家庭生活の各分野に関する基礎的な知識や技術の習得を目指し、被服実習、調理実習など様々な学習を行っています。実習では、障がいの状況に応じて用具や手法を工夫しています。基礎技術の定着、向上に向け、各種検定にも取り組んでいます。（全国高等学校家庭科技術検定、文書デザイン検定等）



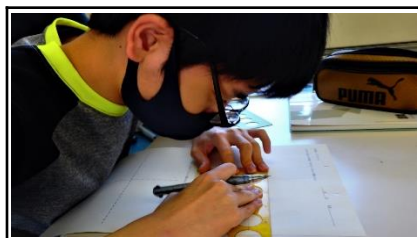
普通科



学校祭



2学年職場実習



工業科：製図



商業科：実習販売



生活科学科

■第1学年生徒の週時程表

【 普通科 】

	月	火	水	木	金
1	情報	芸術	化学基礎	英語コミュニケーション	数学Ⅰ
2	保健	芸術	言語文化	体育	英語コミュニケーション
3	英語コミュニケーション	化学基礎	情報	現代の国語	家庭総合
4	公共	英語コミュニケーション	現代の国語	化学基礎	家庭総合
5	数学Ⅰ	言語文化	数学Ⅰ	公共	総合
6	自立活動	体育	自立活動	数学Ⅰ	LHR

【 工業科・商業科・生活科学科 】

	月	火	水	木	金
1	英語コミュニケーション	公共	言語文化	数学Ⅰ	工業技術基礎 情報処理 ファッション造形
2	保健	英語コミュニケーション	自立活動	体育	工業技術基礎 情報処理 ファッション造形
3	化学基礎	家庭基礎	製図 簿記 フードデザイン	工業情報数理 簿記 服飾手芸	言語文化
4	数学Ⅰ	家庭基礎	製図 簿記 フードデザイン	工業情報数理 情報処理 服飾手芸	数学Ⅰ
5	工業情報数理 ビジネス基礎 生活産業情報	現代の国語	公共	現代の国語	総合
6	工業情報数理 ビジネス基礎 生活産業情報	体育	化学基礎	英語コミュニケーション	LHR

* 登校時間 8:15 (月～金)

* 下校時間 15:45 (月～金)

■教育課程の特徴

高等学校に準じた教育課程を編成しています。授業では基礎的・基本的な内容を身に付けることを目指します。また、作品制作や実習などを通して達成感を味わい、将来の自立や進路選択に必要な力を育てることを重視しています。

□ 自立活動の指導

健康管理や身体のケアを自分自身でできることを目指しています。毎朝行う「ストレッチタイム」は身体をケアする習慣付けを目的として実施しています。また、寄宿舎生活においても同様に取り組んでいます。

□ 資格取得に向けた取組

資格取得は、将来の進学・就職後に役立つだけではなく、大きな自信となり、日々の主体的な学びや次の目標に対する励みにもなります。資格取得に向け、授業や放課後活動などで積極的に取り組んでいます。

□ 進路指導と職業教育

系統的な学習となるよう、第1学年は校内実習、第2学年は職場体験、第3学年は卒業後の就労を前提とした実習を行っています。

また、第1学年から外部講師を招いた授業や職業相談などを行い、進路に対する意識を高める取組を行っています。

■卒業後の主な進路先について（令和4年度実績）

- 一般就労9名【NTT DaTa、旭川赤十字病院、株式会社ほくでんアソシエ など】
- 福祉的就労6名（就労継続支援B型4名、就労移行支援1名、生活介護1名）
【音色、爽やかネットワーク、社団法人ひまわり、リハビリリー・エイトなど】
- 進学6名【札幌保健医療大学、札幌学院大学、旭川大学など】

学校のWebページ



石狩管内

北海道真駒内養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：有

■学校の基本情報

- 住 所 〒005-0011 札幌市南区真駒内東町2丁目2番1号
- 問 合 せ 先 TEL 011-581-0064
FAX 011-581-1892
E-mail makomanai@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.makomanaiyougo.hokkaido-c.ed.jp/>



■本校の概要

□ 学校教育目標

「人とのつながりを大切にし、
自分の考えを持ち、自分の考えを伝え、
自分の考えをもとに行動できる人を育てる」

□ 概 要

本校は昭和36年に開校した肢体不自由のある児童生徒を対象とした特別支援学校です。小学部、中学部、高等部を設置し、肢体に障がいのある児童生徒の学習上の特性等を踏まえながら、学習しています。高等部では、卒業後の自立と社会参加を目指し、「社会生活に役立つ力」を養うことを目指した教育を行っています。寄宿舎では、生活経験の拡大を目指し、たくましく生きていく力を養うことを目指しています。



■特色ある教育活動

高等部教育目標

一人一人の生徒の自立と社会参加に向けて、卒業後の社会生活に役立つ力を身に付けるとともに、主体的に判断し、活動できる生徒を育てます。

【 学校行事の充実 】

体育大会、高等部祭を通して、今を大切に、そして卒業後に生きる力を獲得できるよう学習に取り組めます。

【 実践的、体験的な学習活動 】

「校外学習・生活体験実習」など体験的な学習活動を通して、地域での経験を広げ、様々な人との関わりの中で自分のできることを増やす学習に取り組めます。

作業学習では、体験的な学習を通して卒業後の自立的な生活に必要な知識や技能、態度を身に付けることができる学習に取り組めます。学習内容を整理し、学年を越えて編制したグループで学習に取り組めます。

【 地域と連携した授業づくり 】

行事や日々の学習において、外部専門家や地域の方をゲストティーチャーとして活用するなどし、魅力ある豊かな学習に取り組めます。



生活体験実習：仕分け作業



社会：アイヌ文化について



体育大会：ボウリング



作業学習：花植え



生活単元学習：インタビュー



高等部祭：アトラクション

■第1学年生徒の週時程表

【知的代替の教育課程】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導（朝の身支度・係活動・朝の会）				
2	自立活動				
3	音楽/ 保体/ 作業	生単 ／ 総合	保体/ 作業/ 音楽	理科 ／ 社会	作業/ 音楽/ 保体
4					
5	LHR	美術 ／ 作業学習	数学	国語	LHR
6					

【自立活動を中心とした教育課程の例】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導（朝の身支度・係活動・朝の会）				
2	自立活動				
3	音楽/ 保体/ 作業	生単 ／ 総合	保体/ 作業/ 音楽	自立活動	作業/ 音楽/ 保体
4					
5	LHR	美術 ／ 作業学習	自立活動	自立活動	LHR
6					

※生単は「生活単元学習」、総合は「総合的な探究の時間」

*登校時間 8:55～9:05（月～金）

*下校時間 14:05（月・金）／15:05（火～木）

■教育課程の特徴

知的代替の教育課程、自立活動を中心とした教育課程を編成しています。

教科の学習では、国語、数学、理科、社会などの学習を行います。

生活単元学習や作業学習では、教科の学習内容を関連付けた実践的、体験的な学習を行います。

総合的な探究の時間や自立活動等では、“生徒が卒業後の社会生活に役立つ力を身に付けるための学習”を行っています。

□ 自立活動の指導

自立活動を時間割に位置付け、自立活動教諭と連携を図りながら指導しています。

□ 生活単元学習

学年全体で行う学習では、生活に密着した題材を通して、自分自身の生活を広げることができるよう学習しています。

□ 校外学習

総合的な探究の時間として、学校とは別の地域へ移動して、自分たちで設定した目的の達成を目指した活動を行っています。

公共交通機関を使って移動し、生徒一人一人が課題を意識して活動しています。

■卒業後の主な進路先について（令和4年度実績）

□ 福祉的就労～10名【生活介護10名】

学校のWebページ



石狩管内

北海道手稲養護学校

寄宿舎：無

スクールバス：無

※ 北海道立子ども総合医療・療育センターに原則入院・入所の方を対象とした特別支援学校です。

■学校の基本情報

- 住 所 〒006-0033 札幌市手稲区稲穂 3条7丁目6番1号
- 問 合 せ 先 TEL 011-682-1722
- FAX 011-682-1926
- E-mail teineyogo-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.teineyogo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

□ 学校教育目標

「幼児児童生徒の学習や身体状況に応じた教育を行い、一人一人の能力を伸ばすとともに、社会の一員として参加することを支援し、心豊かに自立した生活をする人間を育てる」

□ 具体目標

「たくましく生き抜く子ども」「明るく協力する子ども」
「自ら考え進んで学習する子ども」

□ 概 要

本校は昭和28年に北海道整肢学院に開設された琴似町立琴似小・中学校分教室からスタートした肢体不自由と病弱の生徒を対象とした特別支援学校です。在籍する生徒は、隣接する北海道子ども総合医療・療育センターに入院、入所しながら通学し、学習しています。

生徒の生活、学習上の実態等を踏まえ、一人一人の心身の状況に応じた教育課程を編成し、卒業後の自立と社会参加を目指し、「心豊かに自立した生活をする人間を育てる」ことを目指した教育を行っています。



■特色ある教育活動

生徒の学習や身体状況及び一人一人の発達の段階に応じた教育を行い、自ら自分の将来を考え社会の一員として参加することを支援する。また、基礎的・基本的な知識・技能を習得させ、思考力・判断力・表現力等やその他の能力の育成に努め、生徒が主体的に学習に取り組む態度を養い、心豊かに自立した生活をする人間を育てる。

□ めざす生徒像

「たくましく生きぬく生徒」「個性豊かに思いやりのある生徒」「自ら学び仲間と高めあう生徒」

北海道立子ども総合医療・療育センターと連携し、人間としての在り方、生き方に関する教育を、各教科・科目、総合的な探究の時間、特別活動及び自立活動において行っています。生涯を通じて健康・安全で活力のある生活を送るための基礎を培う学習活動に取り組んでいます。

【 多様なニーズに応える各教科・科目の履修 】

北海道立子ども総合医療・療育センターへの入退院、入退所により、転入・転学となる生徒が多く、継続した学習を保障するために、指導内容を適切に選択し、履修できるようにしています。

【 地域との交流 】

総合的な探究の時間では、札幌稲穂高等支援学校や三角山分校との交流を行っています。そこでは、コミュニケーション能力を高めたり、主体的に行動する力や意欲を育てる活動を行っています。



英語



札幌稲穂高等支援学校との交流



三角山分校との交流



文化祭



社会見学



職業（染め物）

■第1学年生徒の週時程表

【 肢体不自由（重複） 】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	体育	数学	国語	自立活動	職業
3	英語	職業	音楽	職業	職業
4	自立活動	職業	数学	職業	音楽
5	生活単元学習	生活単元学習	総合的な探究の時間	国語	生活単元学習
6				体育	LHR

【 病弱（普通） 】

	月	火	水	木	金
1	産業社会	数学Ⅰ	化学基礎	英語コミュニケーションⅠ	言語文化
2	体育	現代の国語	美術Ⅰ	保健	現代の国語
3	数学Ⅰ	公共	自立活動	化学基礎	数学A
4	家庭基礎	化学基礎	論理表現	数学Ⅰ	音楽Ⅰ
5	公共	英語コミュニケーションⅠ	総合的な探究の時間	論理表現	化学基礎
6	言語文化	数学Ⅰ	総合的な探究の時間	体育	LHR

■教育課程の特徴

肢体不自由のある生徒と病弱の生徒に対して、一人一人の実態に応じて4つのコースを編成しています。主に①高等学校に準ずる各教科等の指導中心、②下学年・下学部の各教科等の指導中心、③各教科等の内容を合わせた指導である生活単元学習などの指導中心、④自立活動の指導中心となります。

□ 生活単元学習

社会参加に向けた「生きる力」を育成することを目指し、生活を送る上で必要とされる様々な事柄を体験的・实际的に学習しています。

□ 職業

進路学習と関連付けて、働くことを体験的・実践的に学習しています。縫製や紙すきなどの作業、製品の販売活動を行っています。

□ 総合的な探究の時間

自ら課題について学び考え、主体的に判断し、よりよく課題解決する資質や能力を育てることを目標にしています。交流学习や校外学習、学部レクリエーションなどをテーマに学習しています。

□ 自立活動の指導

生徒の実態に応じて、週1～4時間自立活動の指導をしています。各教科等で扱う内容を6区分に照らし合わせ、一人一人が学校生活全体を円滑に送れるように自立活動教諭と連携し指導しています。

* 登校時間 8:45（月～金）

* 下校時間 14:50（月～金）

■卒業後の主な進路先について（令和4年度実績）

□ 生活介護事業所～1名

学校のWebページ



石狩管内

北海道拓北養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：有

■学校の基本情報

- 住 所 〒002-8091 札幌市北区南あいの里3丁目1番10号
- 問 合 せ 先 TEL 011-775-2453
FAX 011-775-2455
E-mail takuhokuyougo@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.takuhokuyougo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「豊かに、たくましく、自分らしく」未来を拓く子の育成
～しなやかに育つ拓北の子～

- 校 訓
「共有・共感・共育」

- 概 要
本校は平成12年4月に開校した肢体不自由を対象とした特別支援学校です。全校児童生徒122名（令和5年4月現在）のうち、高等部には31名（うち訪問1名）が在籍しています。生徒の一人一人の人格と主体性を尊重し、教育的ニーズや障がいの状態に応じた指導の充実に努めています。また、事業所での現場実習や体験的な活動など、一人一人の生徒が自分らしく卒業後の生活を送ることができるよう、日々の学習や進路支援に取り組んでいます。

寄宿舎には、今年度は高等部生徒の利用はありませんが（令和4年度高等部生徒利用実績：3名）、自宅から通学が困難な児童1名が入舎しています。QOLの向上を目指し、個々のニーズに合わせた指導・支援に努めています。興味関心を広げ自分を表現する力や人とのかかわる力、生活を楽しむ力を育むために、様々な体験活動に取り組んでいます。



校舎全景



児童生徒玄関

■特色ある教育活動

高等部教育目標

- 1 自ら学び、心豊かに生活できる生徒
- 2 考えを伝え、受け止め、深め合える生徒
- 3 健やかな心と体で、自分も相手も大切にできる生徒

【指導の形態と学習形態】

各教科・科目は、「知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校の各教科等」に替えて指導しています。また、生徒の学習状況等を把握し、学習グループを構成しています。

○ Aグループ

各教科は主に知的代替小学部段階の内容を学びます。また、下記以外の教科を自立活動に替えて教科学習の基礎となる認知や身体の動き、コミュニケーションを中心に学習します。

（国語、音楽、美術、保健体育、職業、自立活動、総合的な探究の時間、特別活動）

○ B・Cグループ

Aグループよりも各教科の時間が多く、主に知的代替小学部～中学部の内容（Bグループ）、中学部～高等部段階の内容や、関連する小・中学校の一部の内容（Cグループ）を学びます。新しい知識に加え、生活に生かす学習を行います。

（国語、社会、数学、理科、外国語、音楽、美術、保健体育、職業、自立活動、総合的な探究の時間、特別活動）

【進路学習、交流及び共同学習について】

総合的な探究の時間において、卒業後の進路を考える契機として福祉事業所などでの活動を体験したり、近隣の高等学校との交流および共同学習も行ったりしています。



現場実習：事業所での作業体験



職業：パソコンでカレンダー作成



保健体育：ポッチャ



数学：具体物を使った計算



社会：地理（北海道）の学習



自立活動：座位の保持

■第1学年生徒の週時程表

【 Aグループの時間割 】

	月	火	水	木	金
1	自立活動				
2	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	保健体育
3	国語	音楽	国語	自立活動	保健体育
4	自立活動				
	自立活動（給食）				
5	美術	美術	総合的な探究の時間	職業	特別活動
6	自立活動	自立活動		職業	

【 B・Cグループの時間割 】

	月	火	水	木	金
1	自立活動				
2	B理科 C数学	数学	B社会 C理科	自立活動	B外国語 C社会
3	B数学 C国語	国語	数学	B国語 C外国語	国語
4	自立活動				
	自立活動（給食）				
5	B保健体育 C自立活動	職業	総合的な探究の時間	音楽	特別活動
6	B自立活動 C保健体育	職業		美術	

* 登校時間 8:55～ 9:10（月～金）

* 下校時間 14:55～15:10（月・火・木）／14:05～14:20（水・金）

■教育課程の特徴

各教科、自立活動、総合的な探究の時間及び特別活動で教育課程を編成しています。

学習形態については、学年集団を基本単位とした「グループ学習」、学年や学級を基本単位とした「ペア学習」「個別（化した）学習」があります。学習集団（各グループ、各ペア）は、各教科等の学習状況や体調などを考慮して編制します。保健体育は、実態に応じた3学年合同のグループで学習しています。

特別活動は、ホームルーム活動、生徒会・委員会活動、学校行事などがあります。高等部の生徒会・委員会活動は、学年の枠を超えて、普段とは異なるグループの生徒同士と一緒に活動できるよう工夫しています。学校祭（拓養祭）などの行事においても、ゲームコーナーなどの複数の企画に生徒が協力し合いながら取り組んでいます。

□自立活動の指導

毎日1時間目に自立活動の時間を設定し、一人一人の身体の状態に合わせ「健康の保持」「身体の動き」などについて取り組んでいます。

Aグループでは、自立活動の時間が多く設定されていますが、例えば数学に関連する内容を自立活動の「環境の把握」を通して学習するなど各教科とも関連させながら取り組んでいます。B・Cグループも自立活動の指導で学んだことを、各教科の学習に活かしながら取り組んでいます。

また、生活の様々な場面において、上記項目以外にも「コミュニケーション」など、自立活動の各項目を意識しながら活動しています。

■卒業後の主な進路先について（令和4年度実績）

□ 就労継続支援B型 / 生活介護事業所 ～ 9名

【札幌市内、各市町の生活介護事業所など】

学校のWebページ



渡島管内

北海道函館養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：有

■学校の基本情報

- 住 所 〒042-0916 函館市旭岡町2番地
- 問 合 せ 先 TEL 0138-50-3311
FAX 0138-50-3312
E-mail hakodateyogo-z0@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.hakodateyogo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

□ 学校教育目標

「子ども一人一人のもっているよさや個性を発揮できるようにし
心豊かに たくましく 社会で共に生きる力を育てる」

□ 概 要

本校は昭和54年に開校した肢体不自由のある児童生徒を対象とした特別支援学校です。平成3年に高等部が設置され、平成10年からは高等部でも訪問教育を行っています。

現在、高等部には13名の生徒が在籍しており、生徒一人一人の状況や特性、教育的ニーズを踏まえた個別の指導計画に基づいた学習を行い、卒業後の自立と社会参加を目指し、生きがいをもって生活する力の育成を目指しています。

函館市外等から入学する児童生徒のために寄宿舎が設置されており、生活経験の拡大を図るとともに、将来の自立に向けた日常生活及び集団生活における力を育むことを目指しています。



■特色ある教育活動

高等部教育目標

「一人一人のよさや個性を生かし、生きがいのある生活を築くための力を育てる」

【 グループ別の学習 】

個別の指導計画を基に、全学年で2つの学習グループ（A、B）を編制しています。Aグループは医療的ケアを必要とするなど、体調に配慮しながら学習を行うグループで、健康の保持、人やものとの関わりの拡大などをねらいとしています。Bグループは自ら主体的に活動に取り組み、日常生活や社会生活の基礎を育てること、将来の職業生活を見据えた力を身に付けることをねらいとしています。日常生活の指導や生活単元学習を中心に時間割を編成し、生徒一人一人の教育的ニーズに応じて、学習を展開しています。

【 地域の環境を活用した体験的な学習 】

実践的な力を身に付けることができるよう、地域の環境（地域資源や人材）を活用した体験的な学習に取り組んでいます。公共交通機関の活用や買い物などの校外学習、交流及び共同学習、進路学習（施設見学や体験実習）のほか、ボランティアの活用やゲストティーチャー、ALTを招いた学習などを行っています。

【 医療機関や訓練機関との連携 】

現在4名の生徒が、医師、保護者、看護師と連携を図りながら医療的ケアを行っています。



作業学習：古紙リサイクル作業



生活単元学習：冬の過ごし方
(カルタ)



保健体育：モルック



音楽：器楽（タブレット端末）



自立活動



あさひ祭り（高等部祭）

■週時程表

【 Aグループ 】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導/国数				
2	自立活動	生活単元学習	自立活動	生活単元学習	音楽
3					
4	自立活動/日常生活の指導				
5	生活単元学習	自立活動クラブ	生活単元学習	保健体育	HR
6					

【 Bグループ 】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導/国数				
2	作業 学習	生活単 元学習	作業 学習	生活単 元学習	音楽
3					
4	自立活動/日常生活の指導				
5	生活単 元学習	自立 活動 クラブ	生活単 元学習	保健 体育	HR
6					

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施

* 登校時間 9：10（月～金）

* 下校時間 15：10（月・火・木）／14：25（水・金）

■教育課程の特徴

日常生活の指導や生活単元学習、作業学習といった各教科等を合わせた指導と、国語、数学、音楽、保健体育の教科別指導と自立活動とを中心的な学習に据えて、時間割を編成しています。効果的に学習内容を習得できるように、学級やグループ、又は各学年や全学年、個別など、指導体制を工夫しています。音楽や保健体育では、卒業後の豊かな余暇活動に結び付くように、幅広い分野の音楽や運動に親しんでいます。

□ 自立活動の指導

自立活動の時間における指導を設定し、自立活動教諭や医療機関、訓練機関と連携をとりながら、生徒の状況に応じて学習活動の充実を図っています。

□ 総合的な探究の時間

進路学習の一環として、第2、3学年は体験実習を行っています。生徒の実態や実習先によって違いはありますが、2日～10日間行います。また、地域の高等学校との交流及び共同学習を行っており、障がいの有無に関わらず、同年代の仲間と関わり合うことができる貴重な体験の場となっています。

□ 特別活動

月に1回程度全校集会を行っています。また、全校的な行事として体育大会やあさひ祭りを行います。今年度は、学部ごとの実施になっています。あさひ祭り（高等部祭）では、各グループの企画コーナーやステージ発表を行っています。作業学習で制作した製品の販売会も行っています。

■卒業後の主な進路先について（令和4年度実績）

□ 福祉的就労（生活介護）～1名

学校のWebページ



上川管内

北海道旭川養護学校

寄宿舎：無

スクールバス：無

※原則として、北海道立旭川子ども総合療育センターに入所している方が対象です。

■学校の基本情報

- 住 所 〒071-8142 旭川市春光台2条1丁目1-8
- 問 合 せ 先 TEL 0166-51-6507 (事務室)
- FAX 0166-51-6507
- E-mail sns-ky@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.asahikawayougo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「安心・安全な教育環境のもと、生活にいきる力を育む」
- 校 訓
「健康」「明智」「努力」
- 概 要

本校は北海道立旭川肢体不自由児総合療育センターに併設する学校として昭和39年に開校し、昨年創立60周年を迎えました。

高等部は平成9年に設置され、北海道立旭川子ども総合療育センターに入所している生徒や、家庭で生活しながら特別通院・通学の形で療育を受けている生徒、障がいの状態等により通学が困難なため訪問教育学級にて学んでいる生徒（北海道療育園及び自宅）が在籍している学校です。



本校高等部には、普通科（重複学級）5学級14名、訪問教育学級11学級31名の生徒が在籍しています。重複障がい学級に在籍する生徒の6割程度が特別通院・通学生であり、訪問教育学級在籍生徒には中学部第3学年時に学齢超過者として編入した生徒も含まれます。北海道立旭川子ども総合療育センター、北海道療育園に入所する生徒の出身地は、道内広範囲にわたっています。

■特色ある教育活動

【高等部教育目標】

- ①自ら考え、判断し、行動する力を育む。
- ②コミュニケーションの力とともに社会とつながる力を育む。
- ③生活の質を高めるため、健康の維持や増進、経験の拡充を図る。

【 交流及び共同学習 】

旭川市内の高等学校の生徒と年3回交流して学習を行っています。同年代の触れ合いの中から生徒の経験を広め積極的に他者と関わる態度を養い、社会性や豊かな人間性を育みます。

【 生活体験実習 】

卒業後の生活に向けて福祉事業所等と連携し、事業所の活動や生活を体験します。生徒一人一人が目標を設定し、第1学年から段階的・計画的に実習を行います。

【 登校学習 】（訪問教育学級）

学校行事（運動会など）のほかに、年2回訪問教育学級の生徒が学校に登校して集団で学習します。体育館で大型遊具等を活用して学習を行います。また実態に応じて個別にスクーリングも行います。

【 ICT機器を活用した学習（同時双方向中継を使用した学習） 】

タブレット端末などを活用して、訪問教育学級の生徒の自宅と、学校の教室を同時双方向中継で結び、在籍の生徒と訪問教育学級の生徒と一緒に学習します。また、校外の施設とつないで学習や実習を行うこともあります。



職業家庭



ICT機器を活用した学習



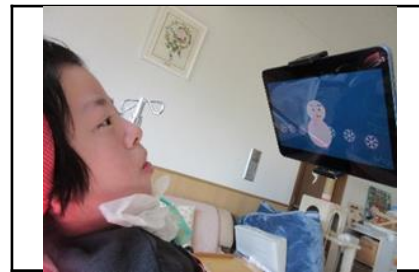
ICT機器を活用した学習（訪問）



ALTによる英語



旭養フェスティバル（学校祭）



タブレットを活用した学習（訪問）

■第1学年生徒の週時程表

【普通学級 第1学年 Aさん】

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
2	道徳	音楽	自立活動	理科社会	職業・家庭
3	体育	LHR	自立活動		
4		リハビリ	自立活動	音楽	自立活動
5	国語数学	自立活動	国語数学	自立活動	美術
6	自立活動	総合的な探究の時間		リハビリ	

*登校時間 8:40

*下校時間 14:45（月・火・木・金）／13:50（水）

【訪問学級 5組 1学年Bさん（北海道療育園）】

	月	火	水	木	金
1	個別学習		登校学習	個別学習	
2					
3	集団学習	集団学習		集団学習	集団学習
4					

<北海道療育園>（週あたり6回）

1校時 9:40～10:40

2校時 10:55～11:55

3校時 13:15～14:15

4校時 14:30～15:30

<在宅>（午前または午後のいずれかで、週あたり3回）

午前 9:30～11:30

午後 13:20～15:20

■教育課程の特徴

「個に応じられる教育課程」を編成しています。編成に当たっては、個別の指導計画を作成し、一人一人の各教科等の実態から、「なにを」「どこで」「どのように」学習するかを明らかにしています。

北海道立旭川子ども総合療育センターや北海道療育園等の関係機関と日常的な情報交換を行いながら、生徒一人一人が安心、安全に学習活動ができるよう、障がいの状態や発達の段階を踏まえ、個に応じた教育を行います。

各教科、道徳、特別活動のほか、卒業後の生活につながる学習活動を行います。また、学校内外の専門スタッフと相談しながら、障がいの状態に応じた教材教具を用いるとともに、ICT機器などを活用し、学習の効果を高めます。

□ 自立活動の指導

年間指導計画を作成し、療育センターリハビリテーション課や自立活動教諭の助言を受けながら、日常生活に必要な身体の動きを改善したり、コミュニケーション能力を高めたりする学習活動を行います。

□ 教科の学習

学習指導要領に示されている目標と内容を踏まえ、生徒の実態に応じて指導します。卒業後の生活に生かすことができるよう、体験的な学習活動を多く取り入れています。

■卒業後の主な進路先について（令和4年度実績）

- 福祉的就労～2名【生活介護2名】
- その他～11名【施設入所 など】

学校のWebページ



オホーツク管内

北海道網走養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒099-2421 網走市字呼人149番地2
- 問 合 せ 先 TEL 0152-48-2235
FAX 0152-48-2137
E-mail abashiriyogo-zO@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.abashiriyogo.hokkaido-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
「地域で自分らしく生きる人を育てる」
- 校 訓
「明るく」「元気に」「呼人で学ぶ」



- 概 要
本校は昭和49年4月に開校した肢体不自由特別支援学校であり、今年度で開校50年を迎えます。
重度重複の障がいのある生徒の学習上の特性等を踏まえ、地域社会において家族や仲間、支援者と共に生活していけるよう、自ら学ぶ意欲を養い、自ら生活を豊かにしようとする態度や知識、生活習慣を育成することを目指した教育を行っています。
本校には、教員が家庭、児童福祉施設、医療機関等を訪問して行う訪問教育学級にも生徒が在籍しています。
寄宿舎では、集団の中で互いに協調・協力し合う精神の育成に努めるとともに、基本的生活習慣の定着を図っています。

■特色ある教育活動

- ア 自分で考え自ら取り組むことができる生徒を育成する【知】
- イ 自分の気持ちを表現し、適切な方法で相手に伝えることができる生徒を育成する【徳】
- ウ 社会的な自立をするために、基本的な生活習慣の定着と体力の向上に取り組むことができる生徒を育成する【体】
- エ 自己理解を深め、社会人としての適切な態度や主体性を身に付けることができる生徒を育成する【知、徳】
- オ 相手と豊かに関わり、自分ができることを自分ができる方法で取り組むことができる生徒を育成する【自活】

- 【 職業（作業実習） 】
それぞれの作業種目において総合的に学習することで、働く意欲を高め、将来の職業、生活などの社会的自立を目指すとともに生活する力を身に付けます。

- 【 理科・社会 】
社会生活の中で起こる諸課題について、地域や社会とのつながりや決まりがあることを知ったり、日常の事象が日常生活や社会生活に関わることを知り、それらを合わせて体験的に学んだり、交流したりして実際の、総合的に学習をします。

- 【 総合的な探究の時間 】
地域の高校との交流活動や学校近郊施設への校外学習、公共交通機関の利用、ALT交流、現場実習、進路学習などの様々な場を通して、生徒が主体的に探究を行います。また、様々な考え方を知り、自ら考え、選択し、自己決定する力を養います。



販売活動の様子



職業：紙すき



現場実習



現場実習



理科・社会



校外学習

■週時程表

【パターン①】

	月	火	水	木	金
1	家庭科/ホームルーム (SHR)				
2	自立活動				
3	国語・数学	理科・社会	国語・数学	理科・社会	国語・数学
4	職業	自立活動	職業	自立活動	職業
5	道徳	美術	保健体育	国語・数学	特別活動 (LHR)
6		音楽		総合	

【パターン②】

	月	火	水	木	金
1	家庭科/ホームルーム (SHR)				
2	自立活動				
3	自立活動	理科・社会	自立活動	理科・社会	自立活動
4	職業	自立活動	職業	自立活動	職業
5	道徳	美術	保健体育	自立活動	特別活動 (LHR)
6		音楽		総合	

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施

■教育課程の特徴

個別の教育支援計画、個別の指導計画に示された生徒一人一人の教育的ニーズに応じて時間割を作成します。国語・数学や理科・社会、職業を中心とした指導編成（パターン①）、自立活動と理科・社会、職業を中心とした指導編成（パターン②）、計2つの教育課程を編成しています。

学級や学年での学習を中心に取り組んでいますが、音楽、美術、保健体育、職業は、学習到達度や実態に応じて学部全体で学習集団を編成しています。それぞれの学習集団を大切にしながらも個別の教育的ニーズに可能な限り対応するように取り組んでいます。

自立活動の指導では、自立活動教諭を中心に自立活動流れ図を一人一人の障がいの状況等に応じて作成し、6区分27項目の内容を指導の効果上がるように選定し、それらを相互に関連させることで、心身の調和的発達の基盤を培うための具体的な指導内容を設定しています。

* 登校時間 9:00 (月～金)
* 下校時間 14:10 (月・水・金)
／15:05 (火・木)

■卒業後の主な進路先について（令和4年度実績）

□ 福祉的就労（就労継続支援B型／生活介護／日中一時支援） ～3名

学校のWebページ

